

## 登録団体概要書

(2026年2月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつどうほうじんおぎじまのまちなみほぞんすいしんき ようぎかいみんなのわ 特定非営利活動法人 男木島の町並み保存推進協議会 みんなの輪			
代表者職・氏名		理事長 小林 美代子			
主たる事務所の所在地		〒760-0091 香川県高松市男木町 1894			
連絡先等		電 話	090-7146-2268	F A X	050-1600-5885
		e - mail	miyokoppk@gmail.com		
		ホームページ	<a href="https://inaka-pipe.net/minnanowa/">https://inaka-pipe.net/minnanowa/</a>		
法人設立年月		平成 29 年 11 月 14 日	正会員数	18 人	
活動目的 (定款に記載された目的)		男木島の古民家と石垣の町並みは、大変美しい景観である。しかし、古民家の半数は、空き家であり、放置された古民家も多く廃墟となっており、通行に危険であり、景観を損なうものである。この法人は、町並みを安全で美しいものとしてどのように保全していくことが必要か、討議し、日々崩れつつある町並みを住民主体で保存していくことを目的とする。また、町並みに残る生活文化を伝承し、自然を適正に保持するために、文化を伝える活動を定期的に行い、植物園を作り、人々が、男木島の文化や自然と触れ合うことができるように教育的な活動を行うことを通して、生活文化や自然の豊かさを学ぶことができるようにする。			
主たる活動分野		まちづくりの推進を図る活動			
活動状況	主な活動	① 古民家・石垣・農地の適正保持に関わる活動 ② 危険な古民家解体 ③ 古民家の安全のための修繕 ④ 生活文化伝承事業（教育） ⑤ 里山の適性管理（植物園づくり事業） ⑥ 里海を守る活動			
	活動地域	男木島、瀬戸内海			
	活動頻度	月一回			

	<p>過去の事業実績</p>	<p>2017 年 築 101 年の空き家を香川県産木を使って修繕。  2017 年 石垣づくりワークショップ  2018 年 インパクトドライバー講習会、男木島の防災勉強会  2018 年から 2019 年築 70 年の危険空き家および倉庫を修繕。  2019 年から 香川県みどり整備課委嘱みどりの学校開催。藪化した里山を市民と整備。シェアハウスづくり、崩壊した石垣を 修繕  2022 年から「豊かな里海づくり勉強会(以下勉強会)」を開き、里海の状況把握、共通理解、課題の確認、里海回復のための手立てをまとめ、行政への働きかけなどを行ったりゴミ拾いを行っている。  2023 年度伝統工法による休憩所を「みんなの庭」に建設  2023 年豊かな里海を取り戻すための勉強会の一環で「トークショー」を開催。香川大学の長谷川修一先生、自然観察の横山昌太郎さん、生物学者の三谷進さんを迎え意見交換をした。</p> <p>2024 年には  里山及び「みんなの庭」整備。  ゴミ拾い  豊かな里海づくり勉強会を月一回の例会とし、近隣の島々と交流し意見交換を始めた。</p> <p>2025 年度には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の水と空気の循環をよくする土木講習会（奈良県）参加</li> <li>・「弁当の日」講演会、映画会開催、講師及び参加者との交流会</li> <li>・海の生物を増やす勉強会開催（仁尾）。</li> <li>・男木島でワンハンド瀬戸フレンドとゴミ拾い及び環境学習会開催</li> <li>・2019 年からみどりの学校で植樹した苗木 200 本の整備（剪定及び草抜き）及び剪定講習会開催</li> <li>・男木島「みんなの庭」で大道芸開催</li> <li>・地元の子供たちに授業の一環で梅の収穫体験・梅のプレゼント</li> <li>・島の危険ブロック塀撤去、空地のごみ拾いボランティア</li> <li>・公益財団公立学校共済生涯教育福祉財団より奨励賞受賞</li> <li>・夏休み親子環境学習受入</li> <li>・プラネタリーヘルス講演会聴講（徳島）、登壇者と面談</li> </ul>
<p>今後の活動方針</p>		<p>持続可能な社会づくりのために県内だけでなく、県外のいろいろな団体とも連携し、SDG s に関する取り組みを広げていきます。</p>
<p>県民への P R</p>		<p>高松港から 40 分、景色は一変し、明治から昭和初期にかけてつくられた「町並み」は、日本の過去の生活を感じさせ、持続可能な生活文化も残っています。日本の文化、家並み、そしてそれを作り出した海の豊かさを守る活動にぜひ、ご協力ください。</p>

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

## 活動状況報告書

(2026年 2月作成)

団体名 特定非営利活動法人 男木島の町並み保存推進協議会 みんなの輪

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>男木島の古民家と石垣の町並みは、大変美しい景観である。しかし、古民家の半数は、空き家であり、放置された古民家も多く廃墟となつて、通行に危険であり、景観を損なうものである。この法人は、町並みを安全で美しいものとしてどのように保全していくことが必要か、討議し、日々崩れつつある町並みを市民と行政が力を合わせて保存していくことを目的とする。また、町並みに残る生活文化を伝承し、自然を適正に保持するために、文化を伝える活動を定期的に行ったり、植物園を作り、人々が、男木島の文化や自然と触れ合うことができるように教育的な活動を行ったりすることを通して、生活文化や自然の豊かさを学ぶことができるようにする。</p>
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>かつて1500人が暮らした男木島は、人口160人になり、頂上付近まで耕されていた段々畑も、自然の山に還っている。土地を平らにするための石積だけが、かつての人の働きかけを感じさせてくれる。小さな土地でも個人の所有であるため、所有者以外が活用することもできず放棄地として荒れている。自然とふれあいたい人でも土地を持つことは、現在はまだむずかしい。活用したい人が活用できるようにするにはどうしたらよいだろうと、荒れ果てていく畑や、山を見つめる日々が続いていた。</p> <p>2019年2月、ぜひ、山を活用してほしい、という申し出があり、法人の土地として同年11月に登記完了、自然と触れ合う機会が少ない人に活用してもらおう活動「香川県みどり整備課委託事業 みどりの学校」を始めた。目的は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とふれあう機会を一般市民に提供する</li> <li>・自然とのふれあいを通して、健康づくりなど日本に伝わる文化を一般市民と共有する</li> <li>・藪化してイノシシが生息しないように里山の整備をし、今後の長雨や豪雨での土砂崩れや石積みの崩壊対策のため、細根の植物を植え山の保水力を高める。</li> </ul>

<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>「香川県みどり整備課委託事業 みどりの学校」は、2019年12月21日を第1回とし、里山に人が入ることができるように整備し、果樹の苗や、薬草を移植した。里山の整備と整備地の維持管理の活動は、毎月1回。集落の中には、家が崩れ、更地になって草が生え蛇やハチが生息するようになった空き地がある。その空き地を整備することによって島の人や来島者が災害時に一時避難する安全地帯作りも行っている。非常時には、果樹が食料となるように剪定や草抜きなど整備を行っている。</p> <p>果樹が大きく成長しつつある。2025年度は、地元の子供たちに授業の一環で梅の収穫をさせてあげた。今後も地域に開かれた活動となるよう進めていく。</p>
---	---

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。